

未来の子供たちのために
勇気・元気・行動力だ!

富士吉田市議会議員

横山 ゆうじ

討議資料

子育て・現役世代を代表して横内知事に数度陳情した時の文章を掻い摘んで以下に掲載いたします。

(パイプを活かした議員の役割である意見書提出の一環です)

郡内医療体制と福祉について

小児初期救急医療の必要性を訴え続け、富士吉田市議会にて一般質問をする機会が与えられ、小児初期救急医療センターの富士吉田市誘致を市長に質問しました。結果、知事並びに富士吉田市長を始めとする近隣市町村長の皆様、さらに県議会議員の皆様、検討委員会の皆様にご感謝しております。



また同様に富士吉田市市立病院へのリニアック整備について、文教厚生委員長という職責ながら知事ともども県議員の皆さま、周辺首長の皆さまのご尽力をいただき深く感謝いたします。特に恩賜林組合の協力が不可欠であり、絶大なる支援のもとリニアック整備によって地域がん診療連携拠点病院の役割を果たすことができ、周辺市町村の懸案事項が無事に解決する見通しがつきました。富士吉田市としても、リニアック整備のために富士吉田市立病院別棟の設計予算を補正計上し着実に準備を進めていることをご報告いたします。

次に、さらなる地域2次医療圏の体制整備の充実のためには郡内地域関連市町村が連携し合って協力していくことはもちろんですが、財源確保も大切だと認識しております。そのため、国の地域医療再生基金の支援要請を富士吉田市ならびに周辺地域に働きかけていますが、県の協力なしに実現することは難しいと思われます。従いまして、県として地域医療再生基金の支援要請を国に働きかけていただき、郡内地域医療崩壊をくい止めるためにもよろしくお願いいたします。

さらに郡内に限った話ではありませんが、現実的な問題として老人介護の問題が私たちを大きく不安にしており、老人ホームの不足がどうにかならないかと日々話題に上っております。そのような状況の中、富士山の景観を生かした新しい福祉体制、ホスピタリティの町として歩んでいけないかと日々思案しております。

山梨県としても更なるご協力をお願いしたいと思います。

富士山を取り巻く環境と景観そしてホスピタリティの町へ

富士吉田市をはじめ富士北麓地域にとって富士山は欠かすことのできない唯一無二の存在であることは疑いの余地がありません。富士山の資産価値を高め、富士山世界文化遺産を契機に景観面も含め、総合的な環境都市の実現が富士北麓地域の今後の生活の糧になると期待しております。従って富士山世界遺産の結果がどうであれ、山梨県には引き続き強い気持ちと十分な計画を携えて世界遺産登録に邁進していただきたいと思っております。

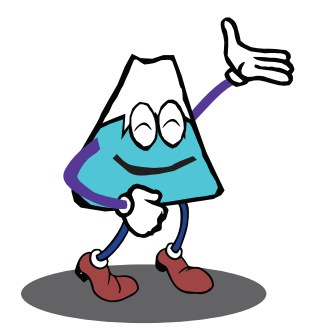
特に富士北麓地域に十分な投資が期待できることを内外にアピールと投資をしていただき富士北麓の発展に力を貸していただきたいと思っております。富士北麓地域は日本一の環境先進地域になり得ますし、日本一のホスピタリティ地域になり得ると確信しております。老人介護施設等のヒントもここにあります。

富士山の資産価値が上昇し、将来の富士北麓地域、あるいは郡内地域が豊かで文化的な地域へと変化するものと確信しております。この効果的かつ効率的な手助けを山梨県にもお願いしたいと思います。

(専門) 教育

郡内地域には多くの電子産業関連の企業がありますが、高校を卒業しただけでは戦力となりえず、最低でも2年間の専門教育が必要とのことです。そのような現状を踏まえ、地元を離れ勉学に励んだのに他地域で就職をし、地元に戻ってこないという状況が生まれている現在、このような専門知識を習得する教育機関が富士北麓地域に必要だと思っておりますので山梨県としても更なるご協力をお願いしたいと思います。

横山ゆうじプロフィール



昭和 38 年 6 月 4 日生
富士吉田市議会議員 (一期)
吉田中学校 PTA 会長
北稜高校評議委員
前文教厚生委員長
市議会会派 「みらい」 に所属
妻・2 女 (15 才・8 才) の父
政治理念 「思いやり」
座右の銘 「為せば成る」

横山勇志 後援会事務局

〒403-0005 山梨県富士吉田市松山 1385-2
TEL 0555-24-6664
FAX 0555-24-1803
URL <http://www.kotaro.vc/>